

令和7年12月定例市議会市政報告

令和7年第6回釧路市議会12月定例会の開会にあたり、9月定例市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「愛知県あま市との災害時相互応援協定締結」についてであります。

本年9月29日（月）、愛知県あま市と釧路市は、いずれかの区域内において災害が発生したとき、被災した市が被災者支援等の応急措置の実施が十分にできない場合における、救援資機材の援助及び被災者支援など、災害時における相互の応援体制に関する協定を締結いたしました。

具体的な応援内容については、①食料、飲料水及び生活必需品並びにその供給に必要な資機材の提供、②被災者の救出、医療、防疫並びに応急復旧に必要な医薬品物資及び車輛等の資機材の提供、③応急対策及び復旧活動に必要な職員の派遣、④その他、被災市より要請があった事項、となっております。

また、甚大な被害により応援要請が難しい場合も想定し、被災市からの応援要請がない場合についても、自主的な判断に基づき必要な応援の実施が可能となっております。

あま市は南海トラフ、釧路市は日本海溝千島海溝と共通して巨大地震のリスクがありながらも、同時に被災する可能性は極めて低いと考えていることから、本協定に基づく応援体制は、復旧に向けた各種活動において大きな助力になるものと認識しております。

報告の第2は、「子育て支援総合センターのオープン（開設）」についてであります。

本年10月1日、各子育て支援センターの中核施設としての役割の強化や庁内関係課との迅速な連絡調整を図るため、交流プラザさいわい1階に「釧路市子育て支援総合センター」を開設いたしました。開設に先立ち、9月29日に釧路市議会民生福祉常任委員会視察、並びに内覧会を開催し、10月1日には、オープニングセレモニー、寄附受納式をそれぞれ執り行ったところであります。

セレモニーでは、子育てサークルの22組の親子が参加し、ふれあい遊びを行ったほか、本施設の愛称を発表いたしました。この愛称につきましては、本年3月から約1か月間、市民の皆様に公募し、「むぎゅっと」に決定したところであります。「むぎゅっと」には、ギュッと抱きしめるイメージとともに、孤独や不安を感じているパパ、ママの心も「むぎゅっと」あたたかく包み込んでくれる、安心できる居場所となつてほしいという願いが込められ、また、「むぎゅっと」の「む」には、霧の意味を重ね、釧路らしさも表現されております。

開設後1か月が経ち、10月末時点で延べ852組、1,919名の利用がありま

した。4か月児健康診査や6～7か月児育児相談、市役所で手続をした後に足を運んでいただいた方が多い中、センターの大きな窓から子どもたちが遊んでいる姿を見て、初めて利用した、という方も増えており、利用のしやすさを実感いただいているものと考えております。子育て世帯の方々があそびの広場の利用を通して、子育て相談や親子の交流につながるよう、引き続き、事業内容の充実と周知に努めてまいります。

報告の第3は、「**台湾訪問**」についてであります。

11月9日から14日までの日程で、私と教育長をはじめ、議長や鉤路市議会日台友好議員連盟の皆様とともに、台湾を訪問し、11月11日には、台北市私立景文(けいぶん)高級中学と北陽高等学校との姉妹校協定調印式に出席しました。

調印式では、景文高級中学の董(とう)董事長(とうじちょう)ほか、台北市行政関係者など、台湾側のご来賓をはじめ、両校の生徒や教職員など、会場を埋め尽くした多くの関係者が見守るなか、両校の校長による協定書への署名がなされ、景文高級中学の江(こう)校長からは「両校の絆が深まった証であるだけでなく、台湾と日本の教育文化交流における新たなページとなり、その意義は計り知れない」とのご挨拶をいただくなど、大変意義深いひとときとなったところであります。

また、今回の台湾訪問では、友好交流協定を締結している花蓮市への訪問を予定しておりましたが、滞在中に台湾を通過した台風26号の影響により、訪問が叶わず急遽オンラインによる意見交換を行いました。12月には、花蓮市公式訪問団が鉤路市にお越しになる予定であり、歓迎セレモニーや交流会も予定しております。

あわせて、航空会社等へのプロモーションと、さらなる台湾交流促進に向けた関係団体との情報交換・トップセールスを行いました。今後も、様々な分野における交流を深め、台湾からの誘客促進と今後の観光振興、さらには交流人口の拡大、地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

報告の第4は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約152億3千万円となっており、11月30日現在における発注済額は約150億6千万円であり、発注率は、98.9%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約138億8千万円、率ではおよそ92.2%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約84%、上水道事業で約98%、下水道事業で約97%、住宅建設事業は100%の状況となっております。

以上で、市政報告を終わります。